

学生たちが描く「未来の石狩とビジネス」とは？

石狩市まちづくり 実践インターンシップ



▲市HP

市では、地域の課題解決と新たな価値創造を目指し、全国の学生を対象とした「地域実践型インターンシップ」を令和6年度から行っています。

今年は8/21～9/4に実施。道外から3人のインターン生と道内3人のサポートメンバーが参加し、地域企業の意見を聞きながら、＜地方創生＞と＜ビジネス創出＞を両立させるリアルな事業アイデアの構築に挑みました。

ここでは、若者ならではの柔軟な視点と情熱が詰まった提案の一部をご紹介します。

皆さんは、どのアイデアに興味を持ちましたか？



高校時代を過ごした石狩の魅力を再発見するとともに、新港地域の可能性にとても驚かされました。道内外の学生とビジネスアイデアを考えた時間は、自らの課題を自覚し、成長につながる大変貴重な経験になったと思います。

発展する新港と温かい雰囲気が魅力の花川を巡り、石狩の多様な表情に引かれました。2週間このまちが大好きになり、親身になってくださった方々への感謝でいっぱいです。私にとっていつか戻ってきたい大切な場所になりました。

提案者

早稲田大学
先進理工学部
生命医科学科2年

須田渚 さん

提案者

北海学園大学
法学部1年

あんばい はるき
安保晴喜 さん

「いしかりONE」 ～石狩まると、こどもの学校

「いしかりONE」の提案は、石狩市が抱える「仕事はあるのに働き手がない」という人材不足の課題解決を目指すものです。

原因を「交通手段の制約」や「市内企業を知る機会の少なさ」と分析し、解決策として、こどもたちが市内企業を巡って仕事を体験する「石狩まると、こどもの学校」を構想。これにより、幼少期から地域産業への関心とシビックプライド（自分たちが住むまちへの誇りや愛着）を育み、住民と産業の心理的な距離を縮めます。

運営は学生ボランティアが担い、企業協賛と参加費で費用を賄います。まずは小規模なイベントから実績を積み、将来的な人材確保と地域活性化へつなげることを目標としています。

👉 今回提案された
「いしかりONE」のアイデアが、
早くも形になります！

8(日)に開催される「第7回まちフェスいしかり」(詳細は22ページ参照)にて、「いしかりONE」を使ったスタンプラリーを行います。ぜひ実際に会場で体験してください！





「SALARICO ISHIKARI」～エコ住宅と新交通で好循環をつくる

「SALARICO ISHIKARI」の提案は、「街と交通の分断」が引き起こす消費活動の市外流出や交通弱者の孤立といった石狩市の課題を解決するプロジェクトです。

市役所前の市有地(約8,000㎡)に、木造の省エネ賃貸住宅と商業テナントから成る複合施設「SALARICO ISHIKARI」を建設。その不動産・商業収益を全額、住民が実質無料で利用できるデマンドバスなど、新しい交通サービスの維持費に充当します。

不動産事業で地域の交通インフラを支えるという画期的なモデルで、エネルギー・住まい・交通の好循環を生み出し、持続可能なまちづくりを目指します。

現場を歩き、「交通の壁」などの課題を感じつつ、皆さんと真剣な議論を経て「エコ住宅×新交通」のプランへ昇華できました。データだけでは見えないまちのリアルに触れ、一つの解決策を提案できたことは大きな自信にもなりました。

提案者

北海道科学大学
未来デザイン学部
人間社会学科3年

山田楓 さん

私は札幌市出身で、将来は北海道に貢献したく応募しました。石狩で地域を思い、行動する方々を間近に見て、大きな刺激を受けました。独自の魅力を生かしながら力強く発展していくこのまちの未来がとても楽しみです。

提案者

立教大学
観光学部
観光学科3年

北村史織 さん



9/3 活動報告会で講演いただいた「HUNT PROJECT」の一人(株)TJK 取締役 小林茂 さん



「HUNT PROJECT」が全面サポート!

市では、地域の資源・人材・産業を有機的に結びつけ、新たな価値を創出する地域共創プロジェクト「HUNT PROJECT」が産官学連携で始動しています。

本インターンシップもその一環として展開。プロジェクトを推進する地域企業の代表が社会人メンター(相談相手)として参画し、学生たちのビジネスプラン検討を強力にバックアップしています。

本インターンシップにご協力いただいた企業・団体 (順不同・敬称略)

- HUNT PROJECT
- 飛ぶ鳥農場
- 石狩開発株式会社
- 株式会社TJK
- 冷電工業株式会社
- 株式会社ツキモク
- 個別指導塾WREERA
- 花乃大道
- 三和交通株式会社
- 石狩商工会議所
- (一社)アクトスポーツプロジェクト
- NPO法人こども・コムステーション・いしかり
- 石狩地域バイオマス発電株式会社
- さくらインターネット株式会社

思いやりドライバーマッチングサービス事業

「思いやりドライバーマッチングサービス事業」の提案は、鉄道が未整備で、バスも減便傾向にある石狩市の交通課題を、住民の助け合い(共助)によって解決するプロジェクトです。

月額会費制のアプリを開発し、送迎を必要とする利用者と、自家用車で協力したい「思いやりドライバー」をマッチング。ドライバーは運賃の代わりに、走行距離に応じたガソリン代などの実費相当のポイントを受け取ります。

このポイントは石狩産の商品や製品と交換可能で、人々の移動を支えるだけでなく、地域経済の活性化にも貢献。助け合いの心で交通弱者を支援し、地域内経済循環の創出を目指すモデルです。

環境保全への取り組みや札幌に隣接する立地に関心があり、参加しました。驚いたのは石狩の人々の温かさです。親身に聞き、歓迎してくださる姿に触れ、観光地としての魅力に加え、地域を大切にしている石狩の「人」が大好きになりました。

石狩市民として課題解決に挑みたいと思い参加しました。今回、雙着ある場所が増え、石狩のまちづくりへの興味がさらに湧きました。この経験を糧に、今後も何らかの形で地元に関わり続けたいです。仲間と夜遅くまで議論したことも大切な思い出です。



提案者

立教大学
観光学部
観光学科3年

かどや ゆいさん
角谷佑準 さん



提案者

北海道科学大学
未来デザイン学部
人間社会学科3年

藤岡孝介 さん